



伊佐市立 菱刈中学校

生徒数 130人
学級数 6クラス



《テーマ》

差別の現実に深く学び、人権問題に対する知識と理解を一層深めるとともに、部落差別をはじめ、あらゆる偏見や差別をなくしていこうとする意欲と実践力をもった生徒を育成する。

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校では、「認め・支え・高まりあう集団づくり」を学級経営の目標に掲げている。偏見や差別をなくすためには、この「集団づくり」を柱とし、1年次では「友情を深めることによって支え合う」、2年次では「相手の立場に立って考える」、3年次では「人権意識を高め、仲間と協力する」ことが必要である。各学年の発達段階に応じて、あらゆる活動を通して人権意識を高めていきたい。

研究スケジュール

4月7日（木） 人権集会「教科書無償運動から学ぶ」
5月20日（金）～26日（木）
いじめ問題について考える週間の取組
6月13日（月） 職員研修（個人テーマの設定）
8月1日（月） 人権月間の取組
9月1日（木）～7日（水）
いじめ問題について考える週間の取組
11月22日（火） 人権教室に向けた取組
11月28日（月） 職員研修（人権教室に向けて）
12月2日（金） 人権教室、職員研修（人権教室振り返り）
2月24日（金） 部落問題学習
3月20日（月） 職員研修（今年度のまとめ）
「ひらく」を使った道徳の授業を学期1回実施

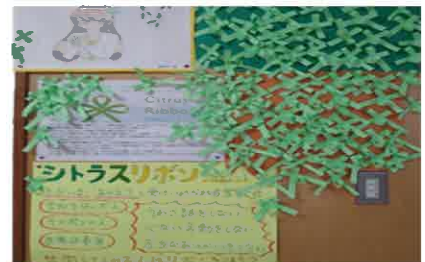
特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ いじめ問題について考える週間（年2回）

1回目は全校集会において、職員がいじめに関する絵本「あの子」の読み聞かせを行った。また、人権・同和教育便り「ひまわり」を発行し、読み聞かせの振り返りや図書室のいじめに関する本の紹介を行った。

□ ヒューマンライツクラブの発足

今年度は「できる時にできることをできる人が」をモットーに、ヒューマンライツクラブのメンバーを募集し、活動している。6月には「シトラスリボンプロジェクト」を、8月には短冊作り、ハンセン病問題の紹介等を行った。「シトラスリボンプロジェクト」では、コロナで欠席した生徒が登校した際、すぐに気付くよう生徒玄関前に「ただいま」「おかえり」の意味を表すリボンを飾った。PTA活動でもリボン作成を行い、保護者も参加することができた。



【シトラスリボン】

□ 人権教室（参加型学習）

12月の人権月間では、全校生徒の参加型学習会を2時間行った。1時間目はリフレーミング、2時間目は1～3年生までの異年齢集団で3つのグループ活動を行い、シェアリングをした。リフレーミングを通して、「見方を変えて見つめることはいいな」、「自分の短所をみんながよくとらえてくれたから嬉しかった」、「みんないい所があるんだと思った」等の感想を書いている生徒が多かった。生徒が考えたリフレーミングは、人権・同和教育便りで紹介した。



【参加型学習】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの聲、よかったこと、今やってみたいこと）

- 職員向け人権・同和教育通信「ひだまり」の発行や、外部講師による講話や実践研修で、様々な人権課題について学ぶことができた。また、生徒と一緒に活動することで、生徒だけでなく職員の人権意識も高めることができた。
- 全校集会での読み聞かせや人権教室、「ひらく」を使った道徳の授業を実施しているが、仲間の失敗を受け入れる雰囲気づくりがまだ十分にできていない。
- 今後は、ヒューマンライツクラブで「菱中リフレーミング表」を作成するなど、更に活動を充実させたい。